

刑 事 訴 訟 法

(問 題)

2023 年度

注 意 事 項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は2頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。受験番号は正確に3箇所に入力してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題（80 点）

2022 年 8 月 18 日午後 8 時頃、V が交番に来て、「10 分ほど前に、ここから徒歩で 5 分程度の距離にある W 大学キャンパスの正門付近で、恐喝の被害にあった。犯人の男と面識はない」などと述べた。そこで、交番に V を残し、警察官 K が現場に向かったところ、付近の路上で、V が供述した犯人の人相、年齢、服装に合致する X が発見された。K の質問に対して X は犯行を否認したが、K からの連絡を受けて交番からやってきた V が、X をみて、「犯人に間違いない」と述べたので、K は、同日午後 8 時 30 分に、X を恐喝の現行犯人として逮捕した。そして、この逮捕に引き続いて、検察官は、同月 19 日午後 4 時に、X の勾留請求をした。

前記勾留請求を受けた裁判官は勾留を認めてよいか。理由を付して論じなさい。

〔以下余白〕